

事業番号	06 06 01	事業改善シート (25年度実施事業分)	<input type="checkbox"/> 予算要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 点検
事業名	資源循環システム構築事業費		担当課	部局	環境部	
総合5か年計画	プロジェクト	3-1 低炭素で循環型の地域社会づくり ◆循環型社会の形成	課・室	資源循環推進課		
	施策の総合的展開		E-mail	junkan@pref.nagano.lg.jp		
			実施期間	S46 ~		

1 事業の概要

目指す姿	循環型社会の形成を推進するために、廃棄物の排出を抑制し、環境にやさしいライフスタイルを推進する。 成果目標：1人1日あたり一般廃棄物排出量 862g(H22) → 800g(H29) ：産業廃棄物総排出量 3,709千t(H20) → 3,600千t(H29)					
現状	・廃棄物の排出抑制に向け、レジ袋削減事業については、今までの啓発事業から、無料配布中止に向けた取組を実施し、より効果的な手法を実施している。また、食べ残しの削減のための協力店の募集や、産業廃棄物の排出抑制に向けたフォーラムを開催し、県民・事業者等への啓発を行っている。					
県が関与する理由	県関与の必要性あり	【左記の説明、根拠法令等】 都道府県は、市町村に対し必要な技術的援助を与えること。 国、都道府県及び市町村は、国民及び事業者の意識の啓発を図るよう努めなければならない。 【廃棄物の処理及び清掃に関する法律】				
事業内容	① 成果目標(H25) ○ 1人1日あたり一般廃棄物排出量：848g(H24)【H29年度800gに向け】 □長野県廃棄物処理計画の目標値により算出 ○ 産業廃棄物総排出量：3,647千t(H24)【H29年度3,600千tに向け】 □長野県廃棄物処理計画の目標値により算出					
	② 事業内容 (単位:千円)					
		項目	実施方法	H25事業実績	H25 (当初)	H25 (決算)
	「レジ袋削減県民スクラム運動」推進事業 (マイバッグ持参率向上推進事業)	委託	・レジ袋無料配布中止事業者の登録 ・「レジ袋削減協働アピール」の実施	1,757	1,757	62
	「食べ残しを減らそう県民運動」推進事業	直接	・食べ残しを減らそう協力店の募集・登録 ・宴会食べきりキャンペーンの実施	120	120	-
	食品リサイクルループ構築事業	直接	・リサイクルループ構築に向けた検討、計画の策定	61	61	147
	産業廃棄物3Rサポート事業	直接	・産廃3Rフォーラムの開催 ・産業廃棄物3Rアドバイザー派遣事業の実施	403	353	392
	きれいな信州環境美化運動推進事業	負担金	・関東甲信越静環境活動推進連絡協議会への負担金	75	75	75
	循環型社会形成推進功労者表彰	直接	・循環型社会形成推進知事表彰の実施	60	60	33
	自動車リサイクル法に基づく更新事務	直接	・自動車リサイクル法に基づく申請の審査	25	25	67
	第一種フロン類回収事業者の登録更新事務	直接	・フロン回収破壊法に基づく申請の審査	11	11	11
	事務経費(経常)	直接	・消耗品、コピー使用料等	414	379	452
			合計	2,926	2,841	1,239

事業コスト	区分(単位:千円)	23年度	24年度	25年度	26年度
	前年度繰越				
	当初予算	1,538	4,112	2,926	1,239
	補正予算		8,528		
	合計(A)	1,538	12,640	2,926	1,239
	国庫支出金				
	県債				
	その他(手数料等)	833	12,160	2,437	712
	一般財源	705	480	489	527
	決算額(B)	1,474	11,550	2,841	
概算人件費	職員数(人)	4.00	4.00	4.00	4.00
概算事業費(B+A+C)	概算人件費(C)	33,032	33,032	33,032	33,032
		34,506	44,582	35,873	34,271

成果目標の達成状況					
項目	H24末(実績)	H25			H26目標
		目標	成果	達成状況	
1人1日あたり一般廃棄物排出量	862g(H22)	848g(H24)	862g(H24)	未達成	837g(H25)
産業廃棄物総排出量	3,709千t(H20)	3,647千t(H24)	3,677千t(H24)	未達成	3,631千t(H25)
マイバッグ等持参率	60.3%	67.0%	69.0%	達成	74.4%

目標に対する成果の状況	一般廃棄物の総排出量は、横ばい傾向であるが、景気の回復等に伴い事業系ごみの収集量が増加し、1人1日当たり排出量は増加となった。 下水道の普及に伴って汚泥の排出量が増加したものの、産業廃棄物総排出量は、横ばい傾向となっている。 レジ袋の削減は、目標を全県での無料配布中止からできる地域、できる事業者から実施する形への発展的移行を図っている。 「食べ残しを減らそう県民運動」は、パンフレット等を協力店舗等に配布した後は、HPやイベントでのPRを図っている。
-------------	---

2 今後の事業の方向性

今後、事業をどのようにしていきたいか	<input type="checkbox"/> 事業を実施しない <input type="checkbox"/> 事業を見直して実施 <input checked="" type="checkbox"/> 事業を現行どおり実施 一般廃棄物の1人1日あたりの排出量はわずかに増加したが、マイバッグ持参率が60.3%(H25.3)から69.0%(H26.3)に上昇するなど廃棄物発生抑制に向けた機運が高まってきている。今後も廃棄物の発生抑制に向けて、レジ袋削減、食品リサイクルループの促進、信州リサイクル製品の普及拡大等の3R促進を図る。 また、自主的な減量化に取組む事業者に対して、研修会等の実施や表彰等を通じて支援を行う。
--------------------	---